

● 地域生活や地域経済への波及効果が拡大

- ・ 新東名高速道路（御殿場JCT～三ヶ日JCT間）開通から2年、県内の地域生活や地域経済への波及効果が拡大しています。

生産・物流拠点の立地

- ★工場立地数は開通前の約2倍に増加
- ★開通2年目も同規模を維持(全国6位)
- ★物流センターが多数立地



新東名開通後 契約が好調の
富士山フロント工業団地(富士市)

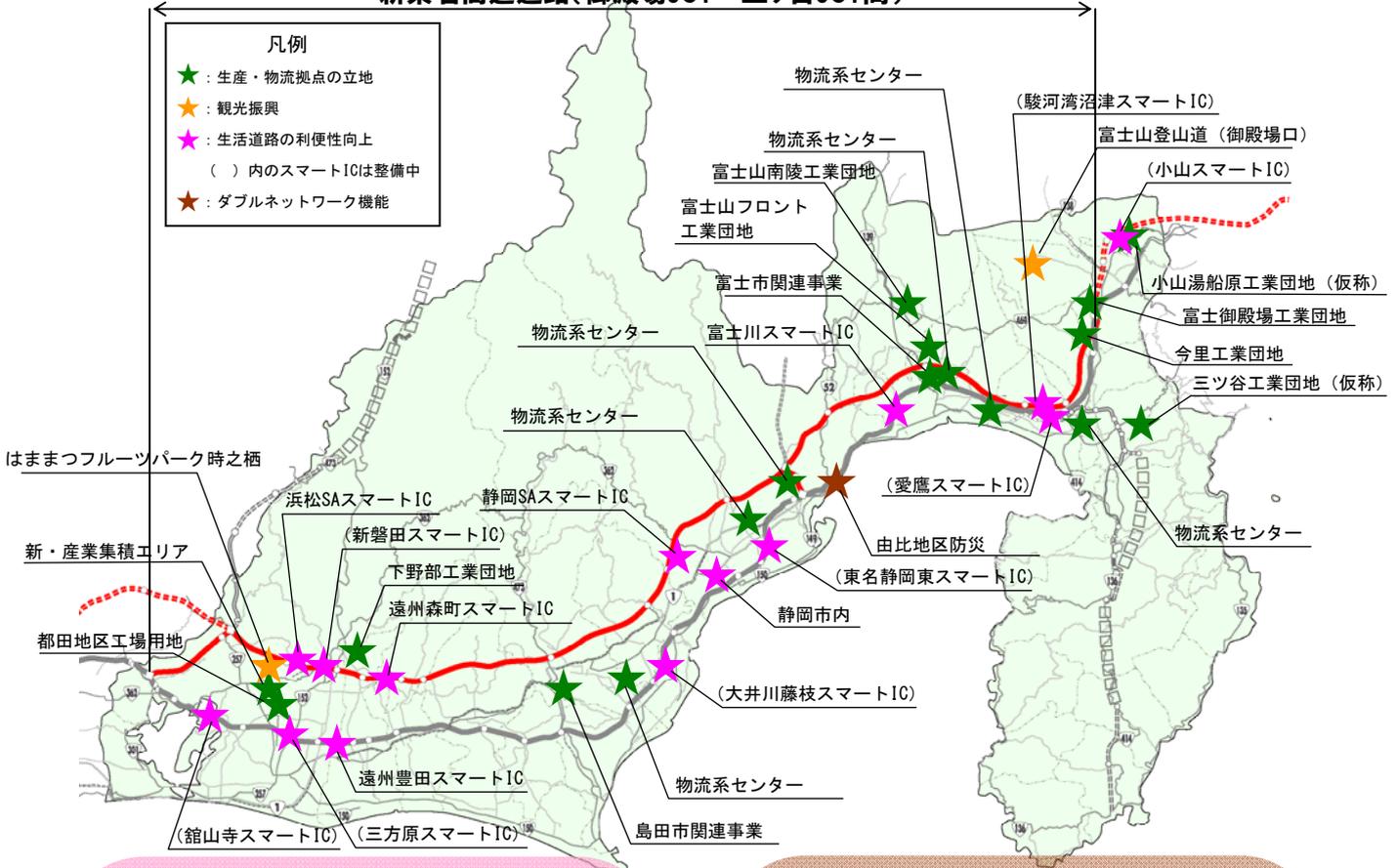
観光振興

- ★2年連続で県内の宿泊者数が増加
- ★世界遺産の富士山の山麓で観光客が増加
- ★新東名沿線で観光入込が増加傾向



来客が増えている
はままつフルーツパーク時之栖(浜松市)

新東名高速道路(御殿場JCT～三ヶ日JCT間)



生活道路の利便性向上

- ★静岡IC周辺の市街地の走行速度が向上



新静岡ICの開通により静岡市街地にある静岡IC周辺道路の交通環境が改善(静岡市)

ダブルネットワーク機能

- ★東名通行止時にリダンダンシー効果発現
- ★越波時の迂回路機能

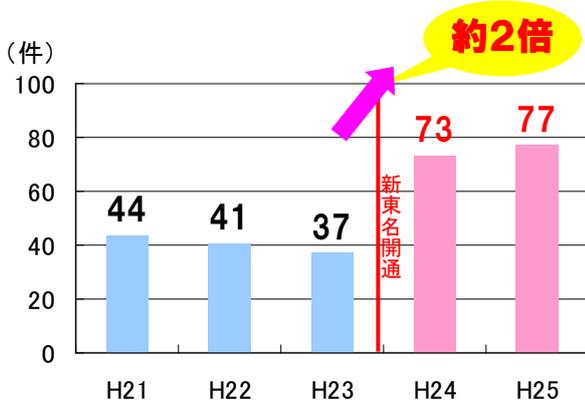


由比地区は、急峻な山地斜面と海岸との間の狭い平坦部に東名高速など幹線が集中

1. 生産・物流拠点の立地

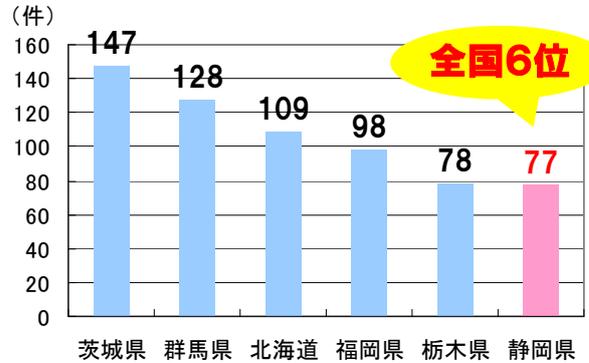
・ 静岡県の平成25年の工場立地数は、前年に引き続き開通前の約2倍の77件に増加（全国6位の立地数）しました。

■静岡県の工場立地件数



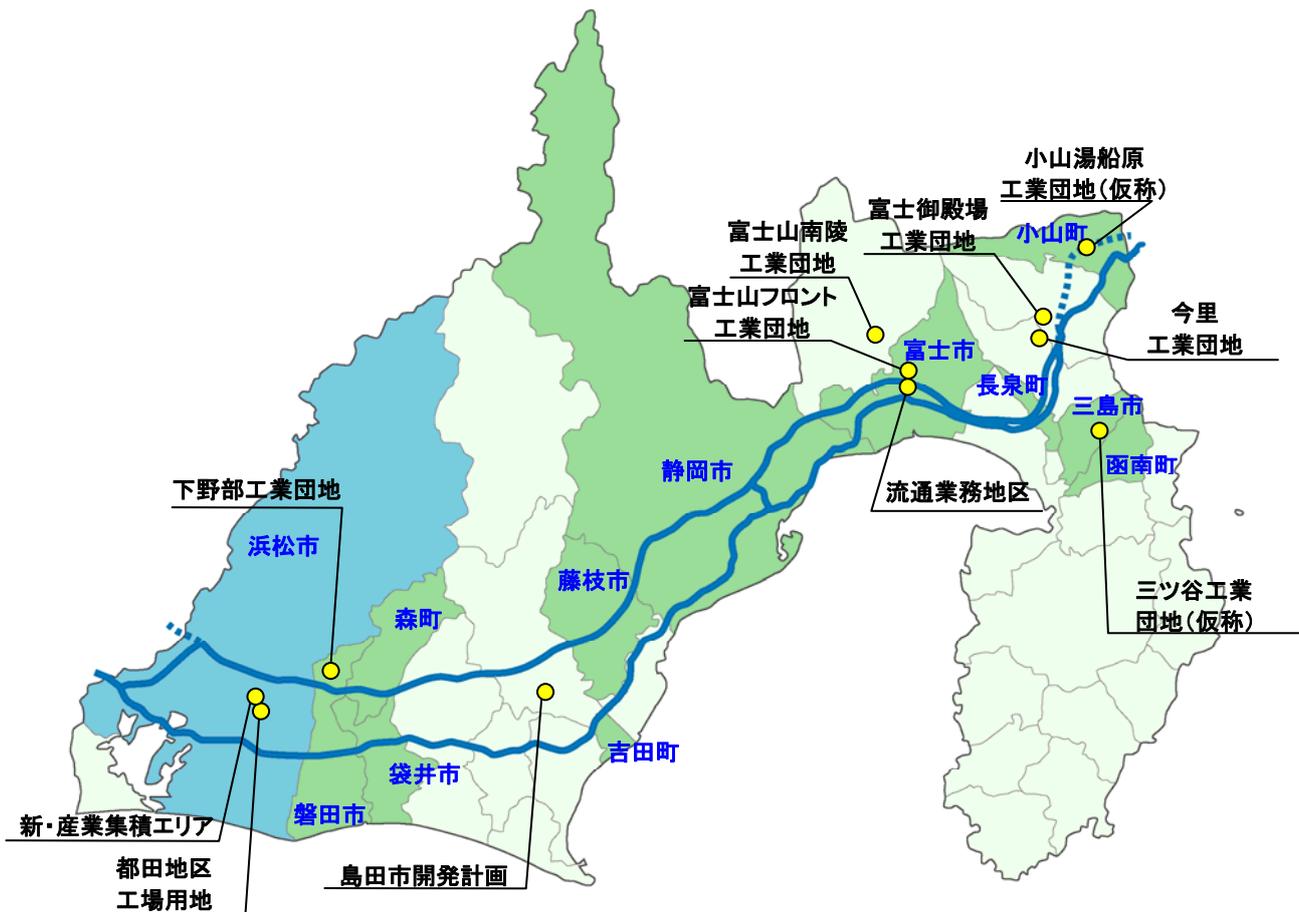
出典：経済産業省「平成25年(1～12月)における工場立地動向調査について(速報)」
平成26年3月

■県別立地件数全国トップ6（平成25年）



出典：経済産業省「平成25年(1～12月)における工場立地動向調査について(速報)」
平成26年3月

■静岡県内の工業団地・開発事業等



凡例

- : ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区（内陸のフロンティアを拓く取組）
※特区は県全域であるが、具体的な事業名箇所のある市町を着色
- : 未来創造「新・ものづくり」特区※対象市全域を着色
- : 主な工業団地等※

※新東名開通後の工業団地・開発事業(立地・造成中を含む)

- ・ 静岡県富士市の富士山フロント工業団地では、新東名開通前の稼働区画数3区画から現在の契約は15区画となり約9割が決定しました。
- ・ 特に高速ダブルネットワークの信頼性、静岡県の地理的優位性を生かし、大型物流センターが立地しています。

■富士山フロント工業団地では契約区画数が9割に

富士山フロント工業団地



● : 稼働区画

● : 稼働+契約区画

新東名が完成し、アクセス性を実感してもらえたことが大きい。



出典: 富士市職員ヒアリング

■新東名・東名沿線に物流センターの立地



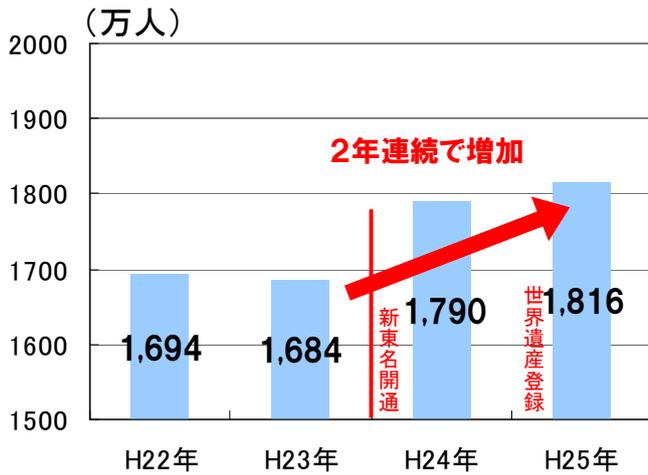
■主な物流センターの立地

企業名	稼働時期	近接IC	規模	業種
① (株)タカキュー	H24.3	新東名新富士	1.7ha	物流
② トナミ運輸株	H24.3	東名富士	1.7ha	物流
③ 平和みらい株	H24.4	東名吉田	1.1ha	物流
④ 株日本アクセス	H24.9	新東名新静岡	1.0ha	食品卸売
⑤ 株日立物流	H25.9	新東名新富士	3.2ha	物流
⑥ 鈴与株	H25.12	新東名新富士	3.6ha	物流
⑦ 株丸総	H26.3	東名清水	1.2ha	物流
⑧ マックスバリュ東海株	H26.9予定	新東名長泉沼津	3.2ha	食品加工

2. 観光振興

- ・ 新東名が開通した平成24年、富士山が世界遺産登録された平成25年と2年連続して県内の宿泊者が増加しました。
- ・ 世界遺産に登録された富士山の御殿場口登山者数は、約177百人でした。平成22年に比べ約2倍となっています。
- ・ 新東名開通後、浜松SAスマートICに近接する『はままつフルーツパーク時之栖』の入場者数が約2倍に増加しました。

■静岡県の宿泊者数

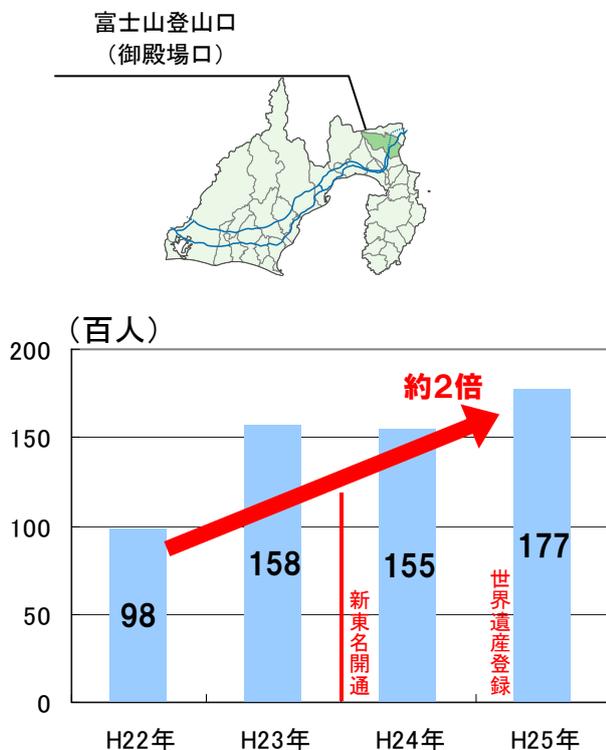


出典：静岡県観光交流の動向
平成25年度の値は速報値

■はままつフルーツパーク時之栖

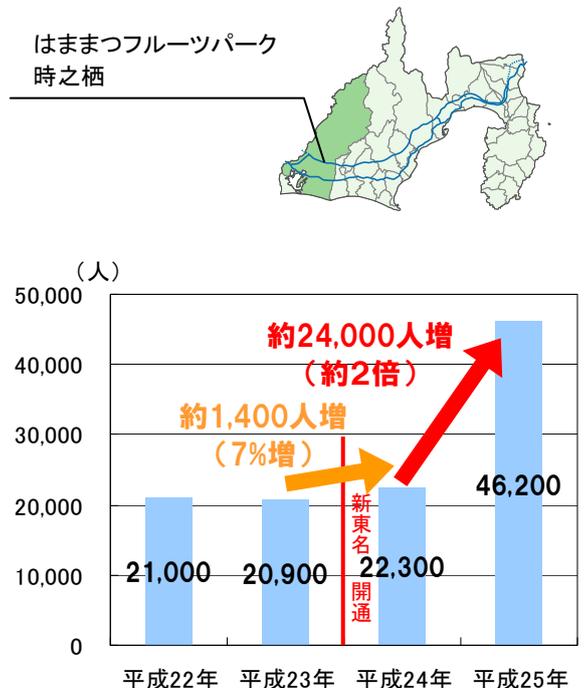


■富士山登山者数（御殿場口）



出典：環境省 関東地方環境事務所
各年7月1日～8月31日の期間

■はままつフルーツパーク休日入場者数(合計)



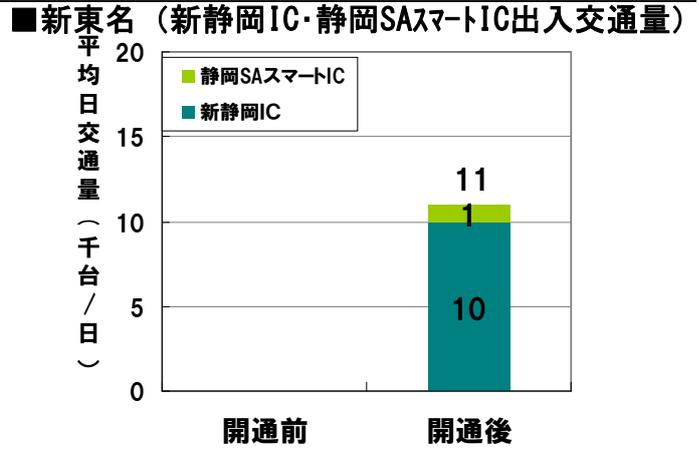
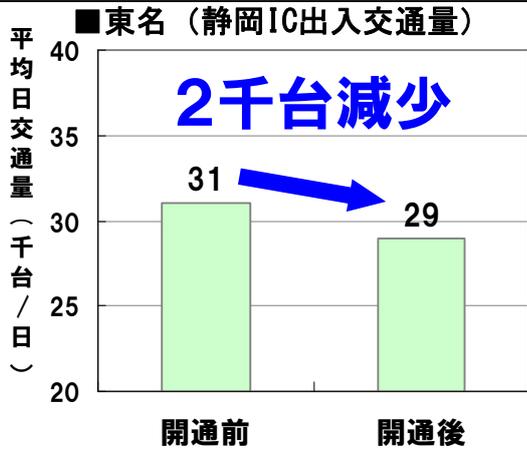
出典：(財)浜松市フラワー・フルーツパーク公社、時之栖※
※平成25年4月から指定管理者制度にて運営

平成22年～平成25年のはままつフルーツパーク時之栖
収穫祭期間中の9月15日～10月31日の休日入場者数
(H22、H23、H25：17日・H24：16日)

3. 生活道路の利便性向上

- 静岡市内には新たに4つの高速IC※が開通しました。うち2つのICが開通により、東名：静岡IC周辺に集中していた交通が分散及び適切に交通分担されたことにより、周辺道路の平均走行速度が向上しました。

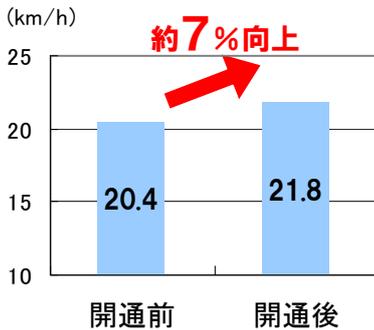
※新静岡IC・静岡SAスマートIC
・清水いはらIC・新清水IC



出典：中日本高速道路(株) 交通量計測データ
開通前 平成23年11月平日の平均日交通量
開通後 平成25年11月平日の平均日交通量

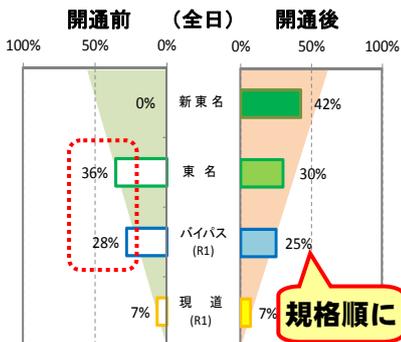
■静岡IC周辺の旅行速度の変化（11月平日の朝7時台）

静岡ICから静岡の中心市街地（県庁・駅）を含む約3km圏域の平均旅行速度の変化



◇大型車混入率（安倍川断面）

静岡中心部の安倍川断面では、規格の高い新東名の大型車混入率が最も高く、東名、国道1号バイパス、国道1号の規格順に低下しています。



◆国道150号 写真朝（市中心部へ向かう交通）



出典：中日本高速道路(株)、国土交通省 交通量計測データ
H23（開通前）：平成23年4月17日（日）～平成24年4月13日（金）
H25（2年目）：平成25年4月14日（日）～平成26年4月4日（金）

出典：民間プローブデータ
開通前 平成23年11月平日7時台の平均走行速度 開通後 平成25年11月平日7時台の平均走行速度
国道・主要地方道・県道・市道 約320kmのうち開通前後の旅行速度を計測した約126kmの平均値

4. ダブルネットワーク機能

- ・ 東名は、沿岸部及び地滑り地帯など災害発生の可能性が高い地域を通過しています。
- ・ 平成25年台風26号の越波で東名の通行止め時には、新東名が迂回路として機能しました。

■東名清水JCT～富士IC間の概要



■東名通行止め時にダブルネットワーク機能が発現



■越波時の東名の状況



■情報板による情報提供



■台風による東名通行止め時の交通量の変化（前週同時間比較）

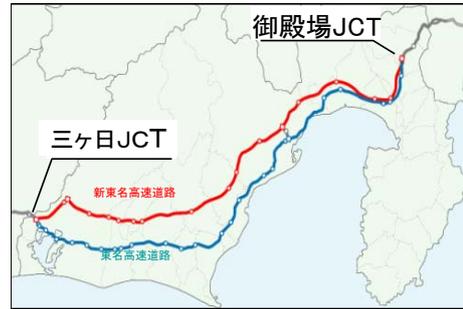
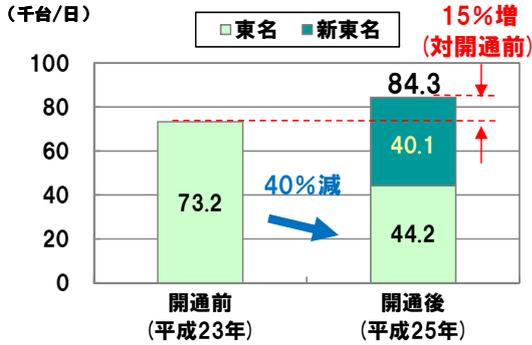


出典：中日本高速道路株式会社 交通量計測データ 前週平成25年10月8日～10月10日/台風26号時10月15日～10月17日
 ※交通量の差分 台風26号時(16日2時～17日5時)前週同時刻(9日2時～10日5時)の交通量の差分

〈参考〉新東名・東名の平均交通量及び所要時間について

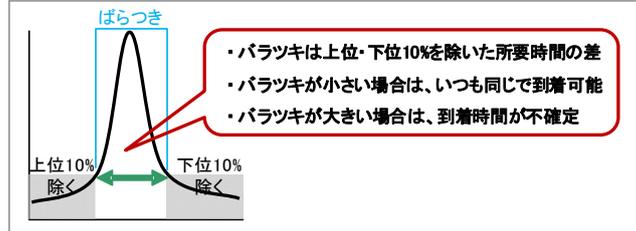
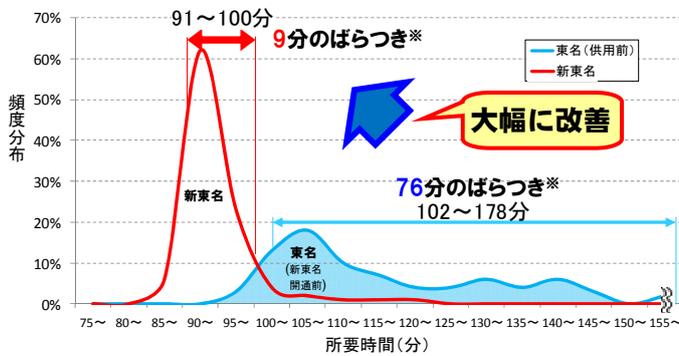
- ・ 2年目の新東名・東名（御殿場JCT～三ヶ日JCT）の交通量を、新東名開通前（平成23年）と比較すると、平均交通量は15%増加しました。また、混雑期において所要時間のばらつきが大幅に改善しました。

■平均交通量



出典：中日本高速道路株式会社
 H23(開通前)：平成23年4月17日(日)～平成24年4月13日(金)
 H25(2年目)：平成25年4月14日(日)～平成26年4月4日(金)

■混雑期における安定した所要時間の提供（御殿場JCT～三ヶ日JCT）



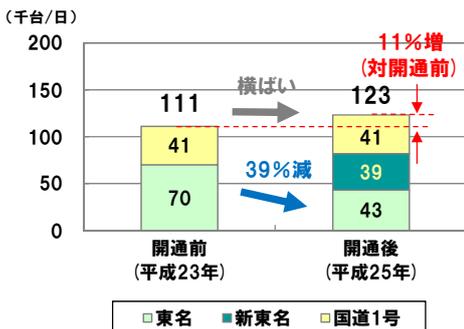
※特異値(所要時間の上位10%、下位10%)を除いた所要時間のばらつき
 出典：民間プローブデータを用いた集計結果

混雑期：
 平成23年GW[4月28日(木)～5月8日(日)]、お盆[8月10日(水)～16日(日)]
 平成25年GW[4月26日(金)～5月6日(月)]、お盆[8月8日(木)～18日(日)]

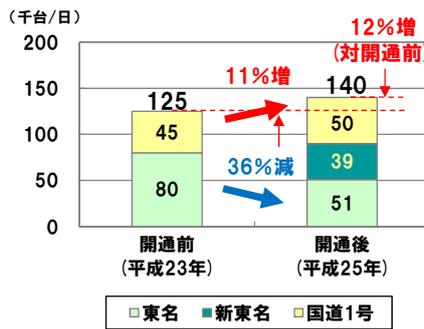
■静岡県内の主要断面における断面交通量（新東名・東名・国道）の変化



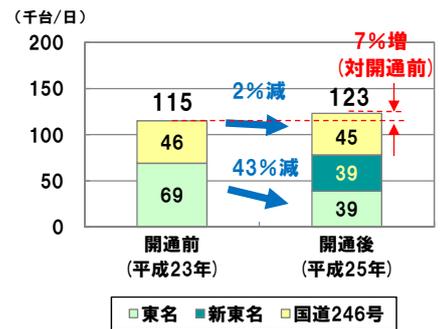
①静岡県西部断面



②静岡県中部断面



③静岡県東部断面



出典：中日本高速道路株式会社、国土交通省 交通量計測データ
 H23(開通前)：平成23年4月17日(日)～平成24年4月13日(金)
 H25(2年目)：平成25年4月14日(日)～平成26年4月4日(金)